

# ほけんニュース

9月9日は  
救急の日

## 子どもの事故防止のために

～日頃から心がけたいこと～

9月9日は救急の日です。元気いっぱいに活動する子どもたちですが、さまざまな事故にあう恐れがあります。家庭内などで起こる事故を中心に、事例と対策について知り、予防に努めましょう。

### 誤飲・誤えん・窒息

子どもの死亡原因で各年齢の上位を占めているのは「不慮の事故」です。不慮の事故の中で「窒息」は0歳が89.9%、1～4歳では35.1%、5～9歳では17.6%を占めています。

#### 事例 タバコの誤飲

胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りをして、その間に子どもがそこからタバコをとって少量かじってしまった(0歳)。



#### 事例 あめの誤えん

あめを食べたまま走り出して飲み込んでしまい、息ができなくなってしまった。背中を叩いて、あめを出した(4歳)。

#### 事例 フードによる窒息

滑り台を滑ろうとしたら、後ろの子にパーカーのフードを引っ張られてしまい、首が絞まりそうになった(5歳)。



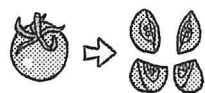
### 気をつけたいポイント

#### 誤飲

- タバコ、ボタン電池、医薬品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置きます。
- 医薬品などは、子どもの見ているところで飲まないようにします。
- 乾燥剤なども間違っって食べることがあるので、処分します。

#### 誤えん

- ミニトマトやぶどうなど、丸くてつるつるした食品は、小さく切って食べさせるようにします。



- あめやグミなどを食べる時は、落ち着いた環境で、座って食べます。

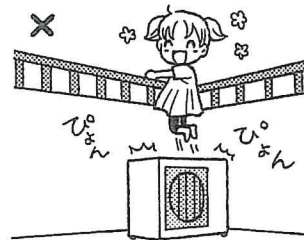
#### 窒息

- フードやひもなどがついていない洋服にします。  
※子どもの事故の発生を受けて、JIS規格の制定が行われています
- シールやポリ袋などがのどに詰まったり、袋をかぶったりして窒息することがあるので、子どもの手の届かないところに置きます。

### 転倒・転落

子どもの死亡原因「不慮の事故」のうち「転倒・転落」は1～4歳が10.5%、5～9歳では8.8%を占めています。0歳は0%でした。

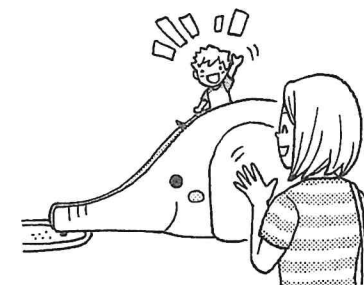
#### 事例 ベランダの転落



ベランダに置いてある室外機に登り、ベランダの柵につかまって、びよんびよんと飛び跳ねていた(2歳)。

### 気をつけたいポイント

- 子どもだけでベランダに出ないように、手の届かない場所に、かぎをつけます。
- ベランダに植木鉢やいすなどの踏み台になるものを置かないようにします。
- 自転車の幼児用座席に子どもを座らせたまま、離れないようにします。
- 公園の遊具などで遊ぶ場合は、おとながそばでつき添います。



### 溺水

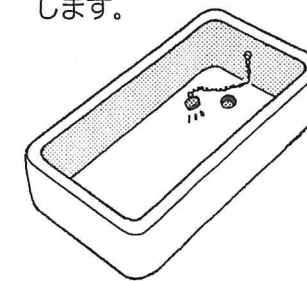
子どもの死亡原因「不慮の事故」のうち「溺水」は0歳が5.8%、1～4歳では45.6%、5～9歳では52.9%を占めます。



20cmくらいのお湯をはった湯船に1人で遊ばせていたら、母親がシャワーをしている、5秒くらいの間に湯船で子どもが仰向けに浮かんでいた(1歳)。

### 気をつけたいポイント

- 子どもだけで浴室に入れないように、かぎなどをかけておきます。
- 子どもが小さいうちは浴槽の水をぬいておきます。
- 子どもを浴室で1人きりにしません。
- おとなが髪の毛を洗う時は、子どもを浴槽から出します。



### 子どもの急な病気で困った時に

子どもが急に発熱したり、病気になったりした時には、不安な気持ちになるものです。そんな時には、小児救急電話相談を利用してみましょう。



小児救急電話相談を  
利用しましょう!

# 8 0 0 0

※小児科の医師や看護師から、お子さんの症状に応じた適切なアドバイスを受けられます。  
※実施時間帯は、自治体によって異なります。